

鹿児島大学・人間文化研究機構協定締結記念シンポジウム

鹿児島島の歴史再発見

— 新しい地域文化像を求めて —

鹿児島大学公成マスコットキャラクター



平成30年 9月29日(土) 13:00~17:00

鹿児島大学教育学部 101講義室

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目20番6号 要事前申込 定員300名

- 基調講演** 原口 泉(志学館大学人間関係学部教授、鹿児島県立図書館館長)
鹿児島・奄美の歴史史料の保存・活用と地域振興 — 人災と自然災害の克服
- 講演 1** 佐藤宏之(鹿児島大学准教授)
ふるさとの記憶を未来へ — 鹿児島資料ネットの取り組み
- 講演 2** 富田千夏(琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係長)
近代以降の沖縄県における歴史資料の被災と資料復元の取り組み
— 外交文書集「歴代宝案」の復元事業について —
- 講演 3** 天野真志(人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員/国立歴史民俗博物館特任准教授)
地域の歴史・文化を象徴するモノ — 歴史文化資料の捉え方



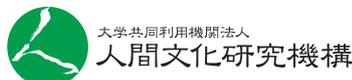
原口 泉氏

参加
無料

手話
通訳有

申込方法

以下のWEBサイトからお申し込み下さい
<https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/33>
定員に達した時点で締め切ります。



主催/鹿児島大学、人間文化研究機構
後援/文部科学省、国立歴史民俗博物館メタ資料学研究センター、鹿児島県の歴史資料ネットワークの実践と展開(基盤研究B 研究代表者 丹羽謙治)
鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、MBC、KTS、KKB、KYT、NHK鹿児島放送局、南日本新聞社

【お問い合わせ】「鹿児島島の歴史再発見」事務局(平日10時~17時) TEL 099-267-8490 E-mail event@bukuken.co.jp

温暖な環境と多様な資源に恵まれた鹿児島は、いにしえより多彩な人間文化がはぐくまれ、豊かな文化を紡ぎ、現在まで守り伝えられてきました。

しかし、このような先人たちが残してきた歴史文化資料も、噴火や地震・津波、台風などの自然災害がひとたび起きれば、一瞬にして失われてしまいます。

地方創生が叫ばれている近年、日本各地では新しい歴史文化像を軸とした地域力の創出に注目が集まっています。災害で失われる前に、地域に伝えられた豊かな歴史文化資料を調査・保存し、現在に生かすとともに未来に継承するための取り組みが、全国各地で模索されています。

本シンポジウムでは、鹿児島大学と人間文化研究機構の両者が連携するための協定の締結を記念して※、鹿児島を中心とした南九州地域における歴史文化資料の現状とその可能性について考えます。一緒に鹿児島・南九州の歴史を再発見してみませんか。

※鹿児島大学は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構と連携協定を締結し、周辺地域との連携を通じた鹿児島の歴史文化資料保存・活用を推進していきます。そして「鹿児島歴史資料防災ネットワーク」の拠点として、想定される南海トラフ地震への備えとして鹿児島・南九州における歴史文化継承のための地域連携を強化します。

プログラム

- 13:00 開 会 総合司会：丹羽謙治（鹿児島大学教授）
開会挨拶
- 13:15 **基調講演** 原口 泉（志学館大学人間関係学部教授、鹿児島県立図書館館長）
鹿児島・奄美の歴史史料の保存・活用と地域振興 —— 人災と自然災害の克服
- 14:00 **講演 1** 佐藤宏之（鹿児島大学准教授）
ふるさとの記憶を未来へ —— 鹿児島資料ネットの取り組み
- 14:30 **講演 2** 富田千夏（琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係長）
近代以降の沖縄県における歴史資料の被災と資料復元の取り組み
— 外交文書集『歴代宝案』の復元事業について—
- 15:00 **講演 3** 天野真志（人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員 / 国立歴史民俗博物館特任准教授）
地域の歴史・文化を象徴するモノ —— 歴史文化資料の捉え方
- 15:30 休 憩（15分）
- 15:45 パネルディスカッション
モデレーター 後藤 真（国立歴史民俗博物館准教授）
パネリスト 奥村 弘（神戸大学教授）
山内利秋（九州保健福祉大学准教授）
佐藤宏之、富田千夏、天野真志
- 17:00 閉 会

アクセス



- 市電「工学部前」下車 徒歩 約 5分
- JR指宿枕崎線「郡元駅」下車 徒歩 約12分
- バス「鹿大教育学部前」下車 徒歩 約 1分
- 「法文学部前」下車 徒歩 約 3分